ナポレオン３世は銀行家の甘言に説得され、自らのフランス帝国をメキシコにまで拡大しようとした。英国政府は、合衆国の北部諸州を再び植民地化できると持ちかけられた。南北戦争は国際銀行家によってひき起こされた経済戦争だった。経済的圧力をかけ、奴隷解放後に北部が直面した経済的苦境をさらに悪化させることなど簡単だった。エイブラハム・リンカーンも「自由民と奴隷が半々では、どの国家も長くはもたない」と認めた。

国際銀行家は、南部に雇われた、北部勢力と戦うあらゆる勢力に無制限の貸付けを行った。メキシコ侵攻に際してはナポレオン３世に２億150万フランを融資し、1863年、南部連合が援助を求めると「時の権力者」はテキサス州とルイジアナ州を見返りに北部諸州に介入することをナポレオンに提案した。

『闇の世界史』p163